

各 位

会 社 名 : ヤ シマ 八 洲 電 機 株 式 会 社
 代 表 者 名 : 代 表 取 締 役 社 長 兼 グ ル ー プ C O O 清 宮 茂 樹
 (コード : 3153 東証プライム市場)
 問 合 せ 先 : 経 営 統 括 本 部 プ ラ ン ド 戦 略 ユ ニ ッ ト ユ ニ ッ ト リ ー ダ ー 菱 山 賢
 (T E L : 03-3507-3349)

「Oracle Fusion Cloud Applications」をベースとした、 新基幹システムの刷新について

当社および当社グループ3社（以下当社グループ）は、オラクルが提供する「Oracle Fusion Cloud Applications」（以下Oracle Fusion Applications）をベースとする新基幹システムへの更新が終了したことをお知らせいたします。

当社グループは、それまで使用してきた基幹システムのサーバOSの保守期限が到来することを機に、新基幹システムへ更新することを2024年2月に決議しました。導入にあたっては、日々進化するDX環境を踏まえ、組織の迅速な業務遂行や、よりの確な意思決定と経営資源の最適化を支援する「Oracle Fusion Applications」を採用いたしました。AI機能が組み込まれた「Oracle Fusion Applications」は、会計、人事、サプライチェーン、カスタマー・エクスペリエンス（CX）を支援する統合クラウド・アプリケーション・スイートです。また、四半期アップデートにより新機能が追加され、イノベーションを継続的に利用することができます。さらに、ハードウェアなどを更改する必要がなく、最新のセキュリティを備えることができます。

導入に向けては社内及び支援会社メンバーによるプロジェクト体制を構築し、2024年4月より更新内容の検討を推進してまいりました。新基幹システムに装備する機能については、「Fit to Standard」をキーワードに、「Oracle Fusion Applications」の標準機能を最大限採用し個別カスタマイズは極力排除する方向とし、業務の推進方法の見直しも含めて検討を行いました。

システムの更新準備期間に約1年9カ月を費やした後2026年1月より新基幹システムを稼働し、システム稼働時の各種課題を解決し、2026年3月期決算及び2027年3月期第1四半期決算を終えるに至りました。これに伴い、新基幹システム導入に向けてのプロジェクト体制を終了し、今後は安定運用・機能改善に向けた活動を推進してまいります。

今回の新基幹システムの更新にあたりましては、日本オラクル株式会社、富士ソフト株式会社の支援を受けております。

＜導入したシステムの概要＞

採用システム	「Oracle Fusion Cloud Applications」
採用製品群	「Oracle Fusion Cloud ERP」、「Oracle Fusion Cloud EPM」、「Oracle Fusion Cloud SCM」、「Oracle Configure, Price, Quote (CPQ)」を含む「Oracle Sales」、「Oracle Cloud Infrastructure」
導入対象会社	八洲電機株式会社、八洲ファシリティサービス株式会社、八洲産機システム株式会社、八洲冷熱株式会社

Oracle、Java、MySQL、およびNetSuiteは、Oracle Corporationの登録商標です。NetSuiteは、クラウド・コンピューティングの新時代を切り開いた最初のクラウド・カンパニーです。

以上